

令和8年度 学校経営計画書

石川県立金沢錦丘高等学校

学校長 西村 俊紀

1 教育目標

高い志を育み、豊かな心と知性、健やかな身体を培い、地域や国家、国際社会の持続可能な発展に貢献できる人材を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 「弘毅篤学」を校訓とし、併設型中高一貫教育校として、教育目標に掲げる人材の育成に取り組んでいる。
- ② ほとんどの生徒が国公立大学への進学を希望しており、質の高い学習指導体制、進路指導体制の整備・充実に努めている。
- ③ 中高一貫教育校の特色を生かし、部活動、学校行事、生徒会活動などの場を、生徒の自立性や内発性、実践力等を引き出す絶好の機会と捉え、地域や国家、国際社会におけるリーダーの育成に取り組んでいる。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 絶対的基礎の徹底を図るとともに、高い志と進路目標、確かな学力、強い意志力を備えもつ自立した社会人の育成を目指す。
- ② 充実した探究的な学習を通して、国際社会にも貢献できる高いコミュニケーション能力、論理的・批判的・創造的思考力を身につけるとともに素直・謙虚・感謝の心を大切にする生徒を育成する。
- ③ 中高生が互いに学び合い、豊かな心と健康な身体の保持増進に努めるとともに、安全を意識して行動できる生徒を育成する。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 教職員が、教育効果が上がる機動的な学校運営の一翼を担うとともに、授業力、指導力の向上を図るための自己研鑽に取り組む。
- ② 生徒が「なりたい自分」を見つけ出し、その実現を図ることができるよう、系統的・組織的な進路指導に取り組む。
- ③ 教職員の危機管理意識を高めるとともに、併設中学校や家庭・地域社会等との連携を強化し、生徒一人ひとりが安心して安全に学校生活を送れるよう、信頼される学校づくりを推進する。
- ④ 「石川県立学校における教職員の多忙化改善実施計画」を理解し、意識改革を図るとともに、保護者や地域の理解も得ながら取組を進める。

3 今年度の重点目標

- (1) 中高一貫教育校の特長を生かし、将来を見据えた進路目標に向かって、意欲的・主体的に取り組むことのできる生徒を育成する。
- (2) 様々な教育活動の場面を通して、論理的思考力を伴ったコミュニケーション力や表現力の向上を図るとともに、これからの社会の変化にたくましく、しなやかに対応でき、明るく元気で礼儀正しく行動できる生徒を育成する。
- (3) 教職員一人ひとりが組織的・効率的な業務の遂行に努めるとともに、日頃から危機管理の意識を高め、保護者や地域に信頼される学校づくりを推進する。